

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2022年2月25日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いのちとくらしを守れ！

総決起集会とパレード

社会派の講談師 神田香織さんが 社会を斬る！



格差と貧困の拡大に加え、コロナ災害によって、国民のいのちとくらし脅かされています。

2月19日、第11回目の「いのちとくらしを守れ！総決起集会」が札幌市内で行われました。会場では感染対策をとる中、約100人が参加、ユーチューブでも配信しました。集会後にはサイレントパレードをおこないました。

主催は、消費税廃止各界連、高齢期運動連絡会、介護に笑顔を！北海道連絡会、北海道社会保障推進協議会、道連絡会、道社保協。

立憲野党から連帯メッセージ 共産党の松橋ちはるさんがあいさつし、立憲民主党や社民党からメッセージが寄せられました。

## 「国民いじめの政治はいらない」 元気になった記念講演

メイン企画は、講談師の神田香織さんの記念講演。「国民の怒りの代弁者、講談師を斬る！国民いじめの政治はいらない」と題した歯切れのよい話は、会場を笑いと涙、感動で包みました。

社会派の講談師となったきっかけや神田さんが作り語っている講談の内容を紹介。広島での原爆の悲惨さとその中で頑張る少年を描いた漫画「はだしのゲン」や原発事故の悲しみと衝撃を描いたドキュメント「チェルノブイリの祈り」の講談などを紹介し、平和と反原発を訴えました。また、神田さん自身もコロナ禍で仕事のキャンセルが相次いでいて多くの国民が大変になっていと紹介。政府は、国民の苦勞がわかっていないと指摘。消費税は不公平で他国のように減税が必要、野党共闘で参議院選挙勝利、そして政権交代しましょう、と呼びかけました。

参加者から、「講演は、すばらしかったの一言です。エネルギーを頂いた分参議院選挙がんばろう！」「うつつとしたくらい気分が晴れました」などの感想が寄せられました。



## 青年・中小業者・医療・高齢者・生活保護の各分野から 深刻な実態と活動について報告

さっぽろ青年ユニオンの代表は、感染拡大による休校・休園で子育て世代が休まざるを得ない状況を告発、小学校等休業等対応助成金の活用と拡充を求める取り組みを報告。

コロナ禍での深刻な患者さんの生活実態や医療機関につ



いて勤医協札幌病院からの報告（司会が代読）。

中小業者の代

表は、コロナ禍の影響に触れ、中小業者への対策が必要で、最大の支援策は消費税減税と訴え。

高齢者の分野では、10月から75歳以上の医療窓口負担の値上げ、4月からは年金引下げ、医療・介護保険料も高く生活が大変、政治を変えなければいけないと話しました。

札幌北区生活と健康を守る会の代表は、毎月2000枚のチラシを配布して相談会を開催、コロナ禍で生活保護の利用者が増えている。生活保護基準引き下げ中止を求める「新・人間裁判」をはじめ制度の改善を求める取り組みを報告。